

2023年1月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社
 コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・IR課長 (氏名) 浅岡 祐介
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-712-7100

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	185,718	15.9	8,480		20,322		23,017	
2022年3月期第3四半期	160,290	3.2	2,192		2,258		4,438	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 24,817百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 5,021百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	138.46	
2022年3月期第3四半期	26.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	953,484	407,075	41.0
2022年3月期	900,346	387,705	41.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 391,226百万円 2022年3月期 369,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		8.50		8.50	17.00
2023年3月期		8.50			
2023年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	22.8	11,900		23,900		25,700		154.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 新京成電鉄株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	172,411,185 株	2022年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,928,254 株	2022年3月期	3,877,009 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	166,235,421 株	2022年3月期3Q	168,533,661 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 四半期決算補足説明資料	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）による厳しい状況が緩和され、企業収益は一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善しており、個人消費及び雇用情勢に持ち直しの動きがみられました。

このような状況の中で、当社は、7月に長期経営計画Dプラン（2022～2030年度）を策定し、「京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する」を2030年におけるグループビジョンといたしました。その第1ステップである中期経営計画D1プラン（2022～2024年度）においては、「コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する」を中期経営目標として掲げ、当社グループは諸施策を推進してまいりました。

また、9月1日付で新京成電鉄株式会社を完全子会社とし、グループ経営体制の強化に努めております。

以上の結果、営業収益は1,857億1千8百万円（前年同期比15.9%増）となり、営業利益は84億8千万円（前年同期は営業損失21億9千2百万円）となりました。経常利益は、203億2千2百万円（前年同期は経常損失22億5千8百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は230億1千7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失44億3千8百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

感染症対策として、政府公表の基本的対処方針等を踏まえ、従業員のマスク着用、消毒、換気及びお客様が手に触れる箇所を中心とした鉄道・バス車両等への抗菌・抗ウイルス加工を継続して実施しております。

鉄道事業では、当社及び北総鉄道株式会社において、沿線の活性化に繋がるよう成田空港線及び北総線の運賃について、10月に値下げを実施いたしました。

安全輸送確保の取り組みとして、スカイライナーをはじめとした有料特急の全列車への警備員の乗車を開始いたしました。また、高架橋の耐震補強工事及び駅のバリアフリー化工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を推進したほか、「一級河川荒川水系荒川改修事業に伴う京成本線荒川橋梁及び綾瀬川橋梁架替工事」において、準備工事に着手するなど、各種工事を推進いたしました。

営業面では、11月にダイヤ改正を実施し、スカイライナーの一部列車を新たに新鎌ヶ谷駅に停車させることで、松戸・柏エリアからの成田空港へのアクセスを更に充実させたほか、昨今の生活様式の変化に伴うお客様のご利用状況を踏まえた運行体制の見直しを実施し、一部路線・時間帯においてワンマン運転を開始いたしました。また、スカイライナー車両を使用した貸切臨時列車「團十郎号」を運行したほか、「スカイライナーご利用4,000万人達成記念式典」を開催いたしました。さらに、人気タレントが演じる「京成王子」をモチーフにしたテレビCM及び特別装飾のスカイライナーをリニューアルいたしました。このほか、新京成電鉄株式会社において、開業75周年を記念して、各種施策を実施いたしました。

バス事業では、感染症の影響による需要の減少等を踏まえ、高速バス路線において運休・減便を実施しておりますが、一部路線では復便をしております。一般乗合バス路線においては、需要の変化に応じたダイヤ改正等を実施したほか、成田空港交通株式会社において、バスのデイトムフリー乗車券とスカイライナー券等がセットになった「スカイライナー成田周遊きっぷ」を販売し、利用促進を図りました。

タクシー事業では、京成タクシー船橋株式会社、京成タクシー習志野株式会社、京成タクシー市川株式会社、京成タクシーかずさ株式会社及び株式会社舞浜リゾートキャブにおいて、事前確定運賃サービスを開始し、利便性及びサービス向上に努めました。

以上の結果、営業収益は1,070億8千7百万円（前年同期比22.0%増）となり、営業利益は18億4千万円（前年同期は営業損失79億2千2百万円）となりました。

<流通業>

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、店舗出荷型ネットスーパーを「リブレ京成千葉寺店」にて開始いたしました。

その他流通業では、京成バラ園芸株式会社において、昨年度にオープンしたいちご狩り施設をバージョンアップし、集客に努めました。

以上の結果、営業収益は377億2千2百万円（前年同期比7.6%増）となりましたが、営業損失は4億6千2百万円（前年同期は営業損失3億1百万円）となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、市川市南八幡の賃貸施設を取得したほか、千葉市中央区において高齢者施設の建設工事を推進しております。

不動産販売業では、中高層住宅「パークホームズ千葉」の販売及び引き渡しを行ったほか、来年度に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ千葉 都賀テラス」を販売いたしました。また、中高層住宅予定地として千葉市中央区の土地を取得いたしました。

以上の結果、営業収益は210億9千1百万円（前年同期比6.2%増）となり、営業利益は73億9千4百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、京成ホテルミラマーレにおいて、京成の電車をテーマにしたコンセプトルームがご好評をいただいたことから、販売期間を延長しております。また、京成トラベルサービス株式会社において、感染症の状況を考慮した上で、京成線内を特別行路で運行する各種のイベント列車ツアー等、多様な旅行商品の企画・催行により、収益の確保に努めました。このほか、鋸山ロープウェイ株式会社において、営業開始60周年を記念し、各種企画を開催いたしました。

以上の結果、営業収益は91億4千1百万円（前年同期比55.5%増）となり、営業損失は7億2千万円（前年同期は営業損失12億8千9百万円、5億6千8百万円の改善）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は194億9千9百万円（前年同期比0.8%増）となりましたが、営業利益は5億3百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比531億3千7百万円（5.9%）増の9,534億8千4百万円となりました。これは、新京成電鉄株式会社の連結子会社化等によるものです。

負債合計は、前期末比337億6千7百万円（6.6%）増の5,464億9百万円となりました。これは、社債の発行等により有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比193億7千万円（5.0%）増の4,070億7千5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、第3四半期の業績を踏まえ検討した結果、2022年11月25日に公表した数値を据え置いております。

今後の動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,513	37,374
受取手形、売掛金及び契約資産	24,739	26,479
分譲土地建物	5,266	6,000
商品	2,164	2,486
仕掛品	182	169
原材料及び貯蔵品	3,348	4,137
その他	11,960	13,658
貸倒引当金	△21	△32
流動資産合計	73,152	90,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	297,169	318,696
機械装置及び運搬具(純額)	24,387	29,708
土地	191,178	205,856
リース資産(純額)	34,151	30,210
建設仮勘定	36,937	40,078
その他(純額)	3,183	3,672
有形固定資産合計	587,008	628,224
無形固定資産		
リース資産	1,008	953
その他	11,471	11,355
無形固定資産合計	12,480	12,309
投資その他の資産		
投資有価証券	204,162	199,049
長期貸付金	337	190
繰延税金資産	18,812	18,778
その他	4,086	4,328
貸倒引当金	△165	△176
投資その他の資産合計	227,234	222,169
固定資産合計	826,722	862,703
繰延資産	471	507
資産合計	900,346	953,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,320	16,493
短期借入金	55,682	56,946
コマーシャル・ペーパー	4,000	3,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
リース債務	6,486	5,262
未払法人税等	1,811	1,509
賞与引当金	3,345	1,896
その他	58,681	67,171
流動負債合計	148,328	172,279
固定負債		
社債	110,450	110,450
長期借入金	140,189	147,853
鉄道・運輸機構長期未払金	40,505	38,991
リース債務	22,840	20,079
繰延税金負債	2,035	2,183
退職給付に係る負債	36,322	40,143
その他	11,969	14,427
固定負債合計	364,313	374,130
負債合計	512,641	546,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,410	34,396
利益剰余金	309,843	331,878
自己株式	△6,184	△13,640
株主資本合計	368,873	389,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,210	2,906
繰延ヘッジ損益	38	—
退職給付に係る調整累計額	△1,358	△1,118
その他の包括利益累計額合計	890	1,787
非支配株主持分	17,941	15,848
純資産合計	387,705	407,075
負債純資産合計	900,346	953,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	160,290	185,718
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	133,865	144,692
販売費及び一般管理費	28,617	32,545
営業費合計	162,483	177,238
営業利益又は営業損失(△)	△2,192	8,480
営業外収益		
受取利息	170	182
受取配当金	231	214
持分法による投資利益	—	13,016
雇用調整助成金	1,421	245
雑収入	1,548	1,745
営業外収益合計	3,371	15,404
営業外費用		
支払利息	1,794	1,811
助成金返還損	—	1,223
持分法による投資損失	1,137	—
雑支出	505	527
営業外費用合計	3,437	3,561
経常利益又は経常損失(△)	△2,258	20,322
特別利益		
負ののれん発生益	—	9,214
工事負担金等受入額	90	354
投資有価証券売却益	300	204
持分変動利益	704	—
その他	74	82
特別利益合計	1,169	9,856
特別損失		
段階取得に係る差損	—	1,470
固定資産圧縮損	155	325
固定資産除却損	530	279
減損損失	242	7
その他	39	10
特別損失合計	968	2,093
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△2,058	28,085
法人税、住民税及び事業税	1,444	2,175
法人税等調整額	277	2,034
法人税等合計	1,722	4,209
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,780	23,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	657	858
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,438	23,017

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,780	23,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,221	721
退職給付に係る調整額	212	308
持分法適用会社に対する持分相当額	△231	△89
その他の包括利益合計	△1,241	941
四半期包括利益	△5,021	24,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,684	23,915
非支配株主に係る四半期包括利益	662	902

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年4月28日開催の取締役会決議等に基づき、自己株式6,860,924株の取得を行いました。また、2022年9月1日に、当社を株式交換完全親会社、新京成電鉄株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行い、自己株式4,982,953株の処分を行っております。上記等の結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が5,986百万円、自己株式が7,456百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が34,396百万円、自己株式が13,640百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	87,360	34,763	15,863	5,029	13,905	3,367	160,290	—	160,290
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	423	299	4,003	849	5,447	1,859	12,883	△12,883	—
計	87,784	35,062	19,867	5,878	19,352	5,226	173,173	△12,883	160,290
セグメント利益 又は損失(△)	△7,922	△301	6,578	△1,289	604	190	△2,140	△52	△2,192

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	106,621	37,310	16,300	7,409	14,283	3,793	185,718	—	185,718
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	466	411	4,790	1,732	5,215	2,659	15,276	△15,276	—
計	107,087	37,722	21,091	9,141	19,499	6,452	200,995	△15,276	185,718
セグメント利益 又は損失(△)	1,840	△462	7,394	△720	503	139	8,694	△213	8,480

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、子会社株式の取得関連費用、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 四半期決算補足説明資料

I 連結損益計算書

- ・新型コロナウイルス感染症の影響緩和により移動需要が回復し、増収、利益計上
 ・新京成電鉄株式会社連結子会社化の影響 営業収益: +49億円 特別利益(負ののれん発生益): +92億円

単位: 百万円、%		2021.3Q 実績	2022.3Q 実績	増 減	率
運輸業	営業収益	87,784	107,087	19,302	22.0
	営業利益	△ 7,922	1,840	9,762	-
流通業	営業収益	35,062	37,722	2,659	7.6
	営業利益	△ 301	△ 462	△ 160	-
不動産業	営業収益	19,867	21,091	1,223	6.2
	営業利益	6,578	7,394	816	12.4
レジャー・サービス業	営業収益	5,878	9,141	3,262	55.5
	営業利益	△ 1,289	△ 720	568	-
建設業	営業収益	19,352	19,499	147	0.8
	営業利益	604	503	△ 101	△ 16.8
その他の事業	営業収益	5,226	6,452	1,226	23.5
	営業利益	190	139	△ 51	△ 27.0
小 計	営業収益	173,173	200,995	27,821	16.1
	営業利益	△ 2,140	8,694	10,834	-
連結修正	営業収益	△ 12,883	△ 15,276	△ 2,393	-
	営業利益	△ 52	△ 213	△ 161	-
連 結	営業収益	160,290	185,718	25,428	15.9
	営業利益	△ 2,192	8,480	10,673	-
営業外収益		3,371	15,404	12,032	356.9
営業外費用		3,437	3,561	124	3.6
経 常 利 益		△ 2,258	20,322	22,581	-
特 別 利 益		1,169	9,856	8,687	743.0
特 別 損 失		968	2,093	1,125	116.2
税金等調整前四半期純利益		△ 2,058	28,085	30,143	-
法 人 税	法人税等	1,444	2,175	730	50.6
	同調整額	277	2,034	1,756	632.2
	計	1,722	4,209	2,486	144.3
四 半 期 純 利 益		△ 3,780	23,875	27,656	-
非支配株主に帰属する四半期純利益		657	858	200	30.6
親会社株主に帰属する四半期純利益		△ 4,438	23,017	27,455	-

営業外収益

持分法による投資利益 — 13,016

営業外費用

持分法による投資損失 1,137 —

特別利益

負ののれん発生益 — 9,214

特別損失

段階取得に係る差損 — 1,470

■主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2021.3Q 実績	2022.3Q 実績	増減	率
鉄道事業	営業収益	41,378	51,429	10,050	24.3
	営業利益	△ 3,764	654	4,418	—
バス事業	営業収益	29,114	34,827	5,712	19.6
	営業利益	△ 3,025	788	3,813	—
タクシー事業	営業収益	17,291	20,830	3,538	20.5
	営業利益	△ 1,133	396	1,529	—
運輸業	営業収益	87,784	107,087	19,302	22.0
	営業利益	△ 7,922	1,840	9,762	—

・流通業

単位:百万円、%		2021.3Q 実績	2022.3Q 実績	増減	率
ストア業	営業収益	24,024	26,061	2,037	8.5
	営業利益	△ 14	△ 188	△ 174	—
百貨店業	営業収益	7,353	7,614	261	3.6
	営業利益	△ 366	△ 338	28	—
その他	営業収益	3,685	4,045	360	9.8
	営業利益	78	64	△ 14	△18.3
流通業	営業収益	35,062	37,722	2,659	7.6
	営業利益	△ 301	△ 462	△ 160	—

・不動産業

単位:百万円、%		2021.3Q 実績	2022.3Q 実績	増減	率
賃貸業	営業収益	14,427	16,347	1,919	13.3
	営業利益	6,236	7,141	904	14.5
販売業	営業収益	2,510	1,479	△ 1,031	△41.1
	営業利益	178	61	△ 116	△65.4
管理業	営業収益	2,929	3,264	335	11.5
	営業利益	162	191	28	17.4
不動産業	営業収益	19,867	21,091	1,223	6.2
	営業利益	6,578	7,394	816	12.4

(注)京成不動産株式会社について、2022年度期首より内訳を販売業から賃貸業に変更しており、2021年度第3四半期の数値を変更後の内訳に組み替えて比較しております。

■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2021.3Q 実績	2022.3Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	103,900	110,238	6,338	6.1
	定期外	66,771	78,282	11,511	17.2
	計	170,671	188,520	17,849	10.5
	うち成田空港発着	(6,095)	(9,515)	(3,420)	(56.1)
	うち有料特急	(1,057)	(2,367)	(1,310)	(123.9)
旅客運輸収入	定期	12,639	13,226	587	4.6
	定期外	17,753	24,094	6,341	35.7
	計	30,392	37,321	6,928	22.8
	うち成田空港発着	(4,196)	(8,531)	(4,335)	(103.3)
	うち有料特急	(850)	(2,277)	(1,426)	(167.6)

[参考]2019年度第3四半期との比較

単位:千人、百万円、%		2019.3Q 実績	2022.3Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	133,902	110,238	△ 23,664	△17.7
	定期外	92,400	78,282	△ 14,118	△15.3
	計	226,302	188,520	△ 37,782	△16.7
	うち成田空港発着	(17,143)	(9,515)	(△7,628)	(△44.5)
	うち有料特急	(4,887)	(2,367)	(△2,520)	(△51.6)
旅客運輸収入	定期	16,561	13,226	△ 3,335	△20.1
	定期外	34,255	24,094	△ 10,161	△29.7
	計	50,817	37,321	△ 13,496	△26.6
	うち成田空港発着	(16,945)	(8,531)	(△8,413)	(△49.6)
	うち有料特急	(4,696)	(2,277)	(△2,419)	(△51.5)

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

以上